

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5
独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、個人消費の回復やインバウンド需要の拡大などで緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、金利や為替変動による内外経済の先行きや物価上昇の長期化などの要因もあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの事業領域である情報サービス産業を取り巻く環境については、企業収益の改善傾向が続く中、人手不足対応やテレワーク関連投資、デジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に、企業のIT投資への意欲は底堅く、IT投資需要は引き続き拡大することが期待されます。当社グループの属する国内CMS市場においてもWebサイトの重要性が増してきていることから、WebマーケティングやWebに関わる業務改善についても興味・関心をもたれる企業が増加してきております。また、コロナ禍以降、事業変革に向けデジタルトランスフォーメーション(DX)の取り組みが加速し、働き方改革に伴うクラウドや生成AIの利用促進により、国内企業におけるDX投資の需要は堅調に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは「そのビジネスに、伝える力を」をコンセプトとして、Webサイトコンテンツ管理システム「infoCMS」、及び次世代CMS「LENSA Hub(レンサハブ)」を活用した、Web受託開発・SaaSサービスを主軸としたWebコーポレートコミュニケーションの総合支援を主事業としております。子会社である株式会社アイアクトからは、AI(人工知能)を利用したファイル・サイト内検索システム「Cogmo Search」、AIチャットボットシステム「Cogmo Attend」のサービスを提供するなど、自社開発のCMSやAI関連技術を用い、Webコーポレートコミュニケーションを通じて、業務効率向上、将来の事業変革へと繋がる業務改善支援やWebマーケティングなどの情報発信の総合支援サービスを提供する事業展開を行っております。

当第3四半期連結累計期間においては、「ブランドコミュニケーション・クリエイティブの資産化」をコンセプトに、Web、ECサイト、SNS、プレスリリース等多岐に渡る情報発信ツールを用いたブランド価値の向上支援や、効果的なユーザー導線を実現するコミュニケーション設計とコンテンツ制作に強みがあり、多数の高品質な支援実績を有している株式会社撮影タイプの株式を取得しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,384,274千円(前年同四半期比9.7%増)、営業利益は53,674千円(前年同四半期比55.6%減)、経常利益は50,432千円(前年同四半期比50.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は12,998千円(前年同四半期比76.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は1,886,226千円となり、前連結会計年度末と比較して258,627千円の増加となりました。流動資産は991,990千円となり、前連結会計年度末と比較して1,954千円の減少となりました。これは、現金及び預金が64,465千円増加した一方、受取手形、売掛金及び契約資産が79,636千円減少したこと等によるものであります。固定資産は894,236千円となり、前連結会計年度末と比較して260,582千円の増加となりました。これは、ソフトウェアが172,248千円、のれんが99,680千円増加したこと等によるものであります。流動負債は434,973千円となり、前連結会計年度末と比較して36,705千円の増加となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が63,012千円増加した一方、未払消費税等が18,633千円減少したこと等によるものであります。固定負債は398,227千円となり、前連結会計年度末と比較して208,023千円の増加となりました。これは、長期借入金が増加した202,071千円増加したこと等によるものであります。純資産は1,053,025千円となり、前連結会計年度末と比較して13,898千円の増加となりました。これは、利益剰余金が12,998千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月14日に発表しました2025年3月期の連結業績予想に変更はありません。